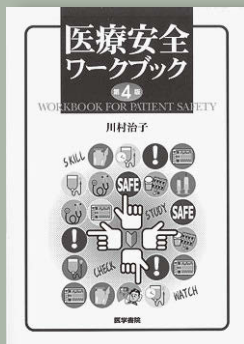


今月の 新刊紹介



医療安全ワークブック 第4版

著：川村治子
発行：医学書院
定価：本体 2800 円＋税

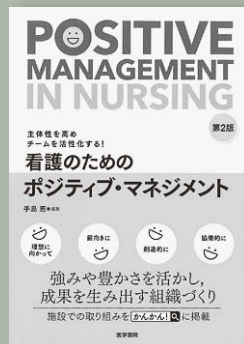
看護教育では抜け落ちてしまいがちだが、知らないと患者に重大な結果を招きかねない必須知識に絞り、その根拠から分かりやすく解説した医療安全の定本の改訂版。最新の医療安全対策を踏まえて記述を見直し、後発医薬品を含む新たな薬剤や電子カルテでの問題など、現在の看護現場の状況に即した内容にアップデートした。薬剤・機器の写真も刷新。



高齢者看護の実践能力を育てる

高齢者ケア施設の看護をベースにして
編：坪井桂子
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 1800 円＋税

高齢者ケア施設に新たに入職した新任期看護師の実践能力を、施設の教育支援者はどのように育成しているのか。本書は、意思決定支援、疼痛、せん妄、入浴への抵抗、看取りケアプランなどの13シーンを、事例を使って解説。高齢者への看護は、どのような視点で取り組み方がいいのか、支援者だけでなく実践者にも役立つ、基本を理解するための解説書。



主体性を高めチームを活性化する！ 看護のためのポジティブ・マネジメント 第2版

編集：手島恵
発行：医学書院
定価：本体 2800 円＋税

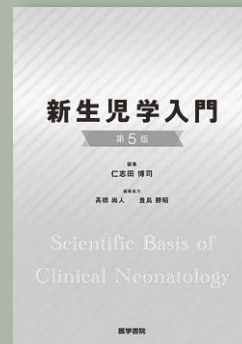
問題や欠点ではなく、組織やスタッフの「優れた特性、豊かさ、強み」に着目し、それを伸ばすことで成果を生み出す“ポジティブ・マネジメント”。今ある豊かさや強みを伸ばすことで、主体性やモチベーションを高めると同時に、スタッフ間の関係を向上させ、組織の一体化を目指す。前向きで創造的かつ協働的な組織づくりに役立つ1冊。



平成30年版 看護白書 地域包括ケア時代の看護管理者の役割

編：日本看護協会
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 3200 円＋税

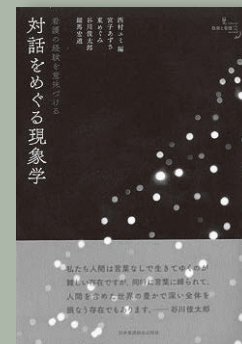
地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の病院、施設、行政などの看護管理者には地域の看護の質向上、看護人材の活用やキャリア支援など、地域全体を見据えたマネジメントの視点を持つ新たな役割が期待されている。本書では、制度や政策の動向、日本看護協会の取り組み、各地の看護管理者の実践報告から、求められる看護管理者の役割を模索する。



新生児学入門 第5版

編集：仁志田博司
編集協力：高橋尚人、豊島勝昭
発行：医学書院
定価：本体 5800 円＋税

新生児医療の基礎知識や考え方を分かりやすくまとめた好評のサブテキストが大幅改訂。本版では、最新の知見や情報に加え、新たに「新生児蘇生」「災害と新生児医療」の章を立て、さらに、近年重要視されている「フォローアップ」の項目も追加。看護や助産の学生をはじめ、臨床で新生児医療に従事する看護師、助産師などすべての医療者の必読書。



看護の経験を意味づける 対話をめぐる現象学

編：西村ユミ
著：宮子あずさ、東めぐみ、谷川俊太郎、細馬宏通
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 1700 円＋税

著者による言語化を促すワークショップで、看護師長たちは長年心に引っかかっていた思いを語り、対話の中で看護の経験を捉えなおす。そこは、異なる視点から看護実践の新たな意味を創造する場となった。本書の3つの異なる対話から生み出されたのは、経験の新たな意味づけと自己の「再発見」であり、それは現象学の実践であったと著者は語る。